



仙台空港復興だより

～仙台空港・アクセス鉄道などの復旧情報をお知らせします～

平成 23 年 7 月 21 日発行(第 4 号)

■ 7月1日、アイベックスエアラインズ震災後初就航

7月1日、アイベックスエアラインズの震災後初の臨時便(仙台一名古屋)が就航しました。

仙台空港を拠点の1つとする同社は津波により壊滅的な被害を受け、一時は運航再開の見通しも立たない状況でしたが、関係者が一丸となって運航再開を果たしました。

運航再開第一便は、アイベックスエアラインズとしては初の中部国際空港就航となる仙台一名古屋便となりました。



▲到着客を出迎えるアイベックスエアラインズの社員たち

当日は、社員が横断幕を持って到着客の出迎えと出発客の見送りをを行い、運航再開を祝いました。

アイベックスエアラインズは、7月24日までは臨時便として仙台一名古屋を、7月25日以降は定期便として仙台一成田、大阪、札幌、名古屋、小松、広島、福岡をつなぎます。



▲「お帰りのさい! 本日より運航再開!」横断幕を掲げる社員たち

■ 空の玄関口を美しく ～空港ターミナルビル花壇植栽～

7月25日に仙台空港の国内線定期便再開・国際線臨時便就航を控え、7月20日、空港ターミナルビルの屋外花壇に花を植えました。

植えられた花々は、震災以前から花壇の手入れをしていた宮城県農業高等学校の生徒さんたちによるもののほか、三重県花植木振興会(三重県)、(株)Heart(東京都)、日本航空(株)、全日空



▲植栽をする宮城県農業高等学校の生徒さんたち

(株)から無償で提供いただきました。植栽には、花苗を提供いただいた三重県花植木振興会、(株)Heartからも参加いただき、日本航空(株)、全日本空輸(株)の全国各地の支社からも有志が駆けつけました。



▲美しく彩られた花壇

また、韓国の国木であるムクゲの木を、在仙台韓国総領事館からの紹介により大林寺(栗原市若柳)より

贈呈いただき、在韓国総領事館とアジアナ航空会社の職員の方々に植栽していただきました。

7月25日には、美しく彩られた玄関でお客様をお迎えいたします。



▲植栽に参加いただいた皆さん

お問い合わせ 宮城県土木部空港臨空地域課

・空港について

電話 022-211-3228

・空港アクセス鉄道について

電話 022-211-3293